

1 学期おつかれさまでした

校 長 武井 正明

皆さん、おはようございます。

今日で1 学期の 74 日間の授業日が終わります。

まず、その話に入る前に、先週行われた地域のお祭りについて触れたいと思います。金曜日のお祭りや土曜日のイベントでは、多くの皆さんが参加し、地域を盛り上げてくれました。



私も参加しましたが、多くの方々から声をかけていただき、大変うれしく思いました。地域の方々からも、皆さんの活躍がしっかりと見られています。

また、先日行われた野球部の県大会や、吹奏楽部をはじめとする各部活動の大会に参加した皆さん、本当にお疲れさまでした。

野球部の皆さんは、来月富山県で開催される北信越大会に 2 年連続で出場することになります。ぜひ、先輩たちが果たせなかった全国大会出場という目標に向かって頑張ってきてください。



さて、1 学期の始業式で、皆さんに一つ話をしたことを覚えているでしょうか。

私は、「新しい自分になってほしい」という話をしました。この 1 学期、皆さんはどうだったでしょうか。

一年生は、新しい環境の中で日々成長し、中学生へと大きく変わってきました。

二年生も、昨年と比べると見違えるほど成長し、学校の中堅として立派になってきていると感じています。

三年生は、落ち着きと安定感をもちながら、学校全体を引っ張ってくれています。

皆さんそれぞれが、この 1 学期の中で確実に成長し、新しい自分へと変わってきたのではないのでしょうか。

これから夏休みに入り、2 学期には大きな行事がたくさん待っています。ぜひ今後も、それぞれがさらに成長し続けてほしいと思います。



「新しい自分」ということと言えば、先日の高校野球の決勝戦を見ていて感じるがありました。昨年の卒業生である浅井隼さんが活躍し甲子園出場を決めました。

よく甲子園を経験すると、チームはたった 1 試合で別のチームのように大きく成長すると言われます。しかし、その成長の裏には、多くの悔しさや挫折、苦しい練習があります。春の選抜大会で満足のいく結果が出せなかった悔しさをバネに、日本文理の選手たちは努

力を重ね、別のチームと思えるほど成長して決勝戦まで勝ち上がってきました。

これから甲子園の舞台でもさらに成長し、活躍してくれることを期待しています。また、これから活躍する本校の卒業生の部員たちにも大いに期待しています。

皆さんにも、大きく成長してほしい願いは同じです。

夏休みの間にしっかりと心身をリフレッシュし、エネルギーを蓄え、新しい自分へとさらに成長する時間にしてください。

そして、毎回お願いしていますが、事故やけがには十分気を付けてください。元気な姿で2学期の始業式に会えることを楽しみにしています。

充実した、よい夏休みにしましょう。



(終業式で話したものを AI で原稿化したものです。AI スゴイ!!)